



みどり

臨時号
令和3年2月18日
調布市立緑ヶ丘小学

校長 鳥居 圭
E-mail

midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

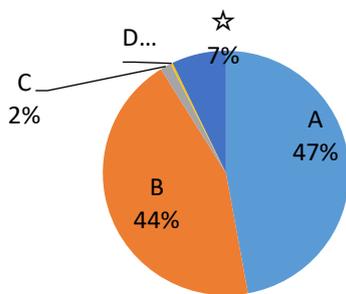
緊急事態宣言の中以前に比べ、不自由な生活を送って約1年がたちます。さて、保護者の皆様には緑ヶ丘小学校の教育活動に関するアンケートにご協力していただき、ありがとうございます。全体の回収率は約96%でした。ご多用な中、評価いただきましたその結果をここにお知らせいたします。ご指摘をいただきました点を踏まえ、このアンケートの結果を来年度の教育活動に生かしていく所存です。今後ともよろしくご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

実施期間：令和2年11月27日から12月5日
調査対象：本校全保護者
配布数：364（全児童数）回収数：350
回収率：約96.1%

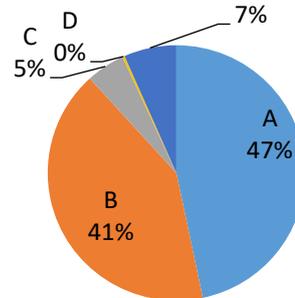
A…よくあてはまる B…ややあてはまる
C…あまりあてはまらない D…まったくあてはまらない
☆…よくわからない

【学力向上】

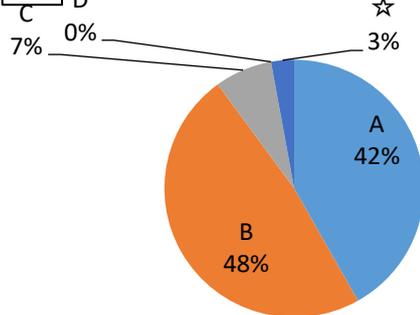
1 学校は、基礎・基本の定着等、児童に分かりやすい指導をしている。



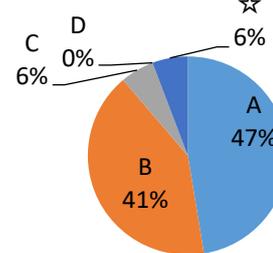
2 学校は、児童に自分の考えをもたせたり、表現(発言や書くこと等)させたりする指導をしている。



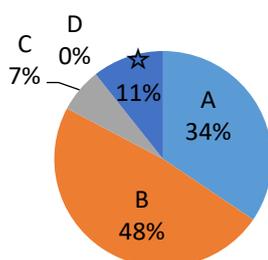
3 学校は、読書を充実させる指導や取組をしている。



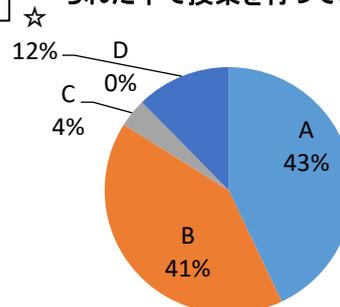
4 学校は、算数習熟度別指導(3年~6年)や低学年算数2人体制指導(1,2年)によって、児童一人一人の学力を高める指導をしている。



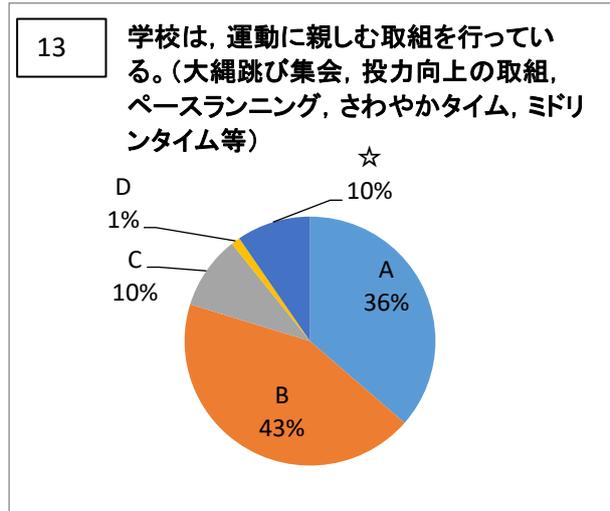
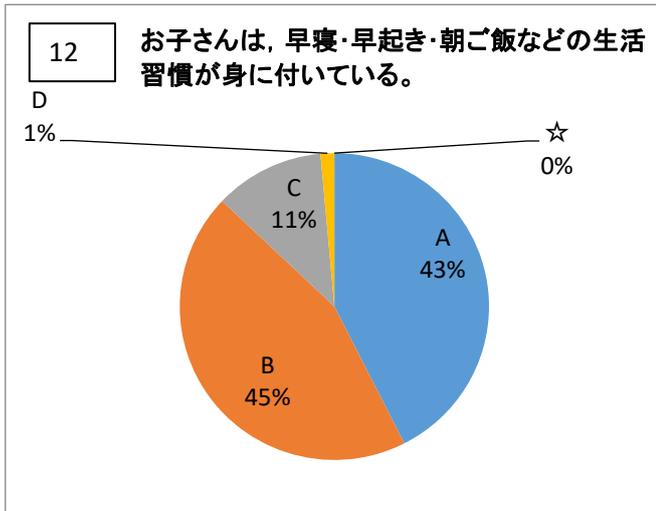
5 学校は、地域の環境、自然・文化、外部の人材を生かした学習活動等地域を生かした指導をしている。



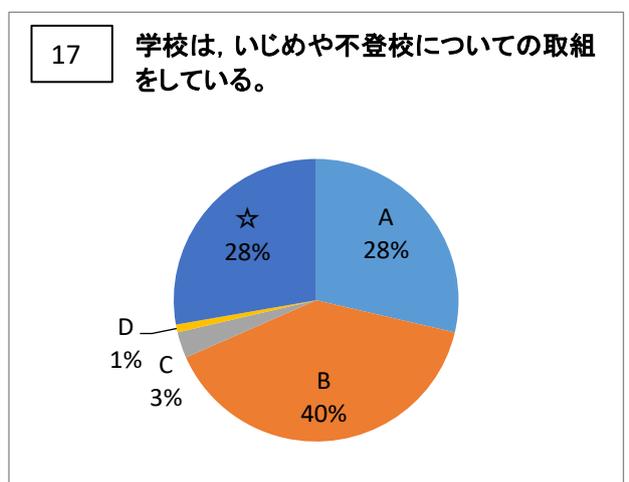
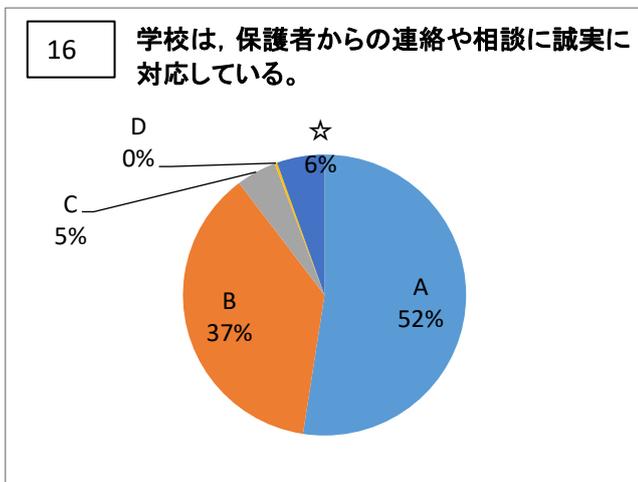
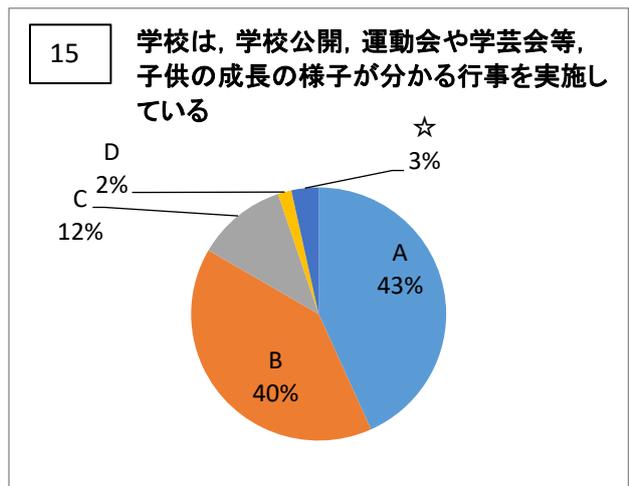
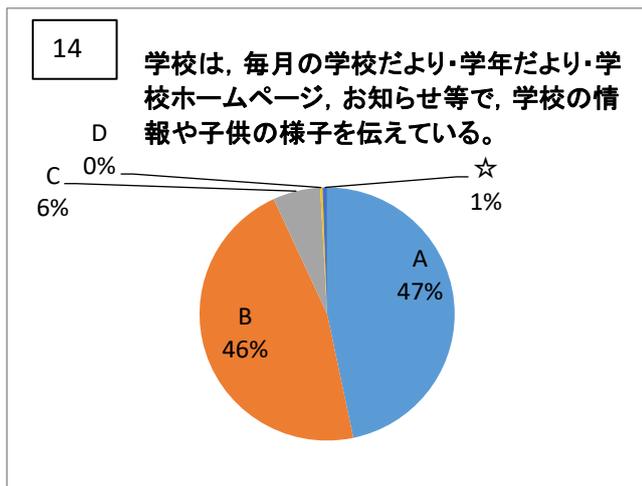
6 話の聞き方や発表等の学習ルールが守られた中で授業を行っている。



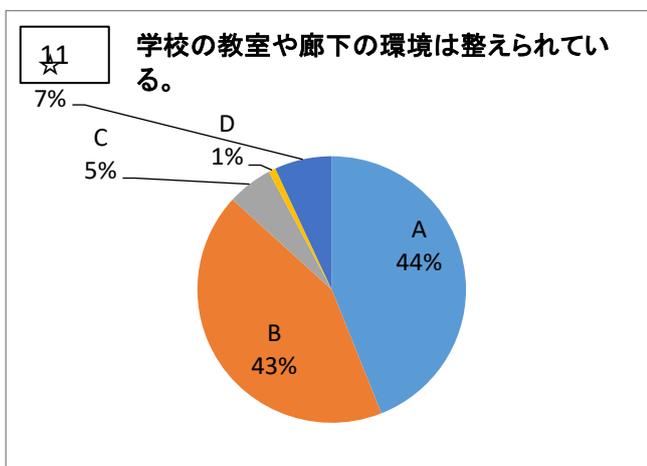
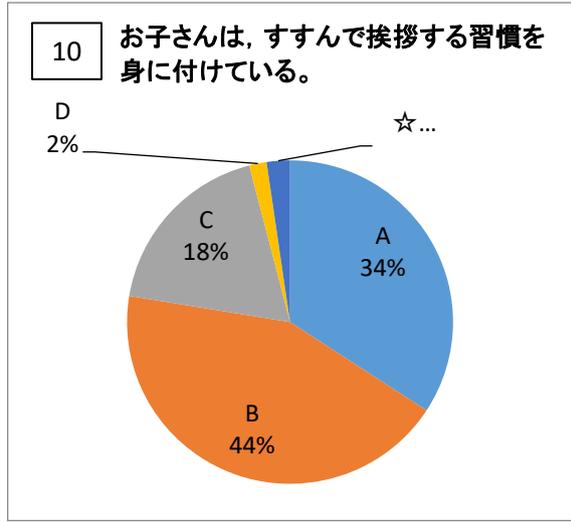
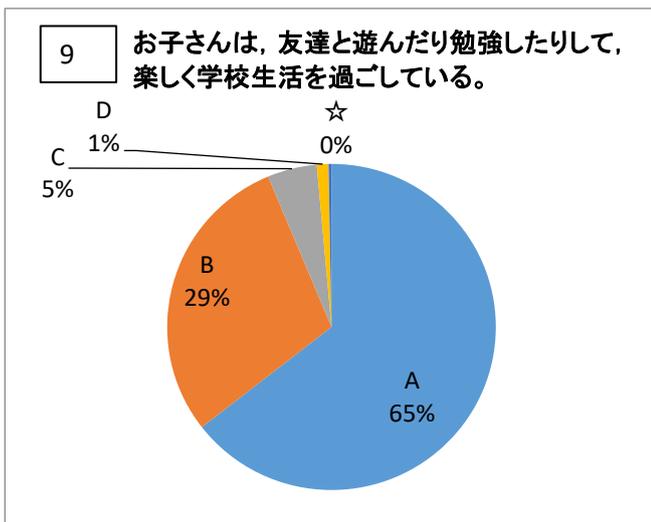
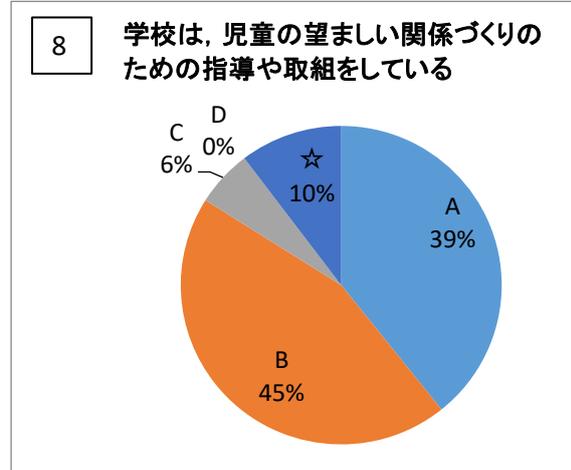
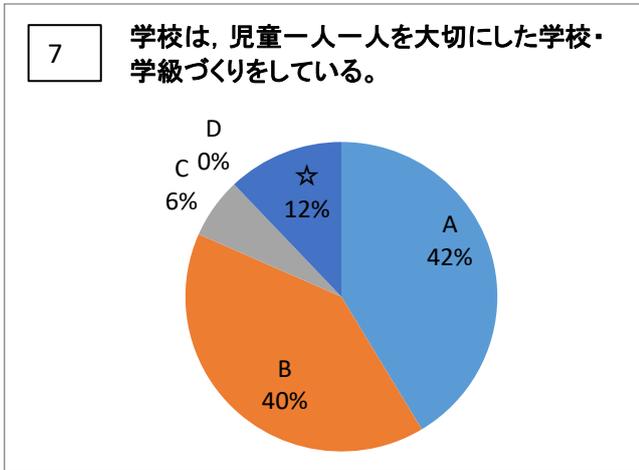
【体力向上】



【その他】



【情操教育】



【アンケートのまとめ】

1 「学力向上」について

1、「学校は、基礎・基本の定着等、児童に分かりやすい指導をしている。」の設問では、A・B評価（肯定的回答）が91%でありました。これは、昨年度より2%減ではありますが、高評価をいただいたと感謝しております。4、「算数の習熟度別指導に関する」の設問では、A・B評価で85%となり5%減でした。児童一人一人に丁寧に指導し、わかりやすい授業を目指していきます。また、2、「学校は、児童に自分の考えをもたせたり、表現（発言や書くこと等）させたりする指導をしている。」の設問では、肯定的な回答が88%でした。今年度より新学習指導要領が完全実施となりこの項目は重要視をされている学習活動でありますので、今後も重点的に取り組んでいきます。6、「話の聞き方や発表等のルールが守られた中で授業を行っている。」の設問でも、前年度に比べ肯定的な回答が5%減となっています。授業規律についても指導の重点化を図るなどしっかりと指導していきます。引き続き子供たちにとって、楽しく分かりやすい授業を目指していく所存です。

2 「情操教育」について

8、「望ましい関係づくりのための指導」では昨年度に比べ肯定的な回答が6%減となりました。コロナの感染予防対策で児童同士のかかわりが以前より希薄になったと思われます。しかし9、「友達と楽しく遊んだり勉強したりして楽しく学校生活を送っている。」の設問では、肯定的な回答が94%と、多くの児童が楽しく学校生活を送っていることがうかがわれます。10、「お子さんは、すすんで挨拶する習慣を身に付けている。」の設問では、肯定的な回答が昨年より3%増となり、数値的には低いものの挨拶の習慣が身についてきていることがうかがわれます。学校でも、挨拶では相手よりも先に、相手に聞こえる声で伝えることをさらに指導してまいります。7、「学校は、児童一人一人を大切に学校・学級づくりをしている。」の設問では、昨年度と比較すると、肯定的な回答が同じポイントでした。これからも児童一人一人を大切に学校づくりを推進して参ります。

3 「体力向上」について

12、「お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯などの生活習慣が身に付いている。」の設問では、肯定的な回答が、昨年度よりも5%増でコロナ禍での家庭生活でしたが、ほとんどのご家庭が基本的な生活習慣が崩れていないことがうかがわれます。また、13、「学校は、運動に親しむ取組を行っている。」の設問では、残念ながら18%減となり学校での体力向上の取り組みがなかなかできていなかったことから、いずれの設問につきましても、コロナ対応や指導の工夫など次年度は取り組んでまいりたいと思います。

4 「その他」について

設問14、16、17では、いずれも肯定的な回答が昨年度と同等もしくは上回った結果となりました。しかし、設問15「学校は、学校公開、運動会や学芸会等、子供の成長の様子がわかる行事を実施している」の項目では、昨年度より約20%以上減となりました。今年度、新型コロナウイルス感染予防の観点から、保護者の方々にお子さんの学校での様子をほとんど見ていただくことができませんでした。次年度は子供たちの成長した姿をお見せできるような行事をできる限りお見せしたいと思っております。

今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、保護者や地域の方々に学校の教育活動を見ていただくような行事の多くが延期、中止、規模の縮小を余儀なくされました。調査結果において、学校の様子がわからないという回答が増加し、AとBの肯定的な評価が相対的に減少した項目が多くありました。来年度はコロナの収束動向を踏まえながら、保護者の方々にはお子さんの様子を参観していただく機会を増やしていきたいと思っております。また、自由意見の中にはコロナの感染予防対策について様々なご要望がありました。これらについては、緩めてほしい、厳しくした方がよいなど、多様な考え方があるのは承知していますが、本校は調布市教育委員会の方針のもと『調布市立学校における感染症予防ガイドライン』を踏まえた感染予防対策を実施しておりますことを御理解ください。

また、社会状況の変化が加速的に進歩し、子供たちを取り巻く環境が日々変化をしてくれています。ICT及びプログラミング教育など、学校に求められる指導内容が質・量ともに明らかに増えている昨今、学校と保護者・地域の皆様が、本当の意味で手を携えて子供たちの健全な育成に努めていく必要があると考えております。今後とも、地域とともにある学校を目指して教育活動を進めてまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

